

発行元:株式会社アークフラッシュ本部  
 東京都新宿区百人町2丁目26番9号  
<http://www.arc-flash.co.jp>

**アークフラッシュ施工された老人施設からは5年間インフルエンザの発症が報告されておりません。**

7月18日夜に中国北京より東京に戻りました。北京も暑い、東京も暑い暑い、アークフラッシュが一番活躍する季節になりました。

**<施工受注情報>**

前田建設工業本店ビルの役員フロアーが8月から全面改装になります。改装されるフロアーには勿論、アークフラッシュが施工されます。

施工日 8月21日、8月29日、9月21日

前田建設工業の子会社でありますフジビルサービス株式会社の依頼で国立横浜大学の図書館のアークフラッシュ施工が8月30日に行われます。

フジビルサービスの依頼で東京六本木のマンションの施工が7月25日に行われます。

BIP ジャパンの依頼で東京池袋の三品ビル5階全部(600㎡)の施工が7月23日に行われます

ペット可マンションの施工のNHK放送以来ペット可マンションの施工の受注が相次いでおります。3LDK 7月13日施工しました。

十仁ビル(地下2階地上9階 12800㎡) 一棟 御徒町駅前を10月施工受注しました。

**<トピックス>**

老化の有力な原因の一つとされてきた「活性酸素」が、実は老化に関与していなかったとの研究結果を、東大食品工学研究室の染谷慎一(そめや・しんいち)特任教員らと米ウイスコンシン大、フロリダ大のチームがまとめた。チームはさらに、細胞内小器官「ミトコンドリア」にあるDNAの損傷蓄積が老化の一因となるメカニズムを解明。15日付の米科学誌サイエンスに発表した。

活性酸素は、体を酸化させ、遺伝子や細胞膜を傷付ける有害物質とされる。従来、活性酸素がミトコンドリアを攻撃して老化を促すと考えられていた。その働きを抑える抗酸化効果をうたった健康補助食品などが市場をにぎわしている。

染谷特任教員は「マウスを使った実験で、活性酸素がミトコンドリアに障害を与えているとの見方が否定された。新たなメカニズム解明は、老化の抑制方法開発につながる」と話している。

**中国訪問記**

7月15日より18日まで中国北京を訪問しました。北京のゼネコンFULL-LINKの社長始めスタッフ役員を会談し、海南島リゾート開発について意見交換をいたしました。ゴルフでは余りの暑さにキャディーが倒れてしまうアクシデントも…